

JTEC の海外研修事業

1. JTEC 海外研修事業のあゆみ

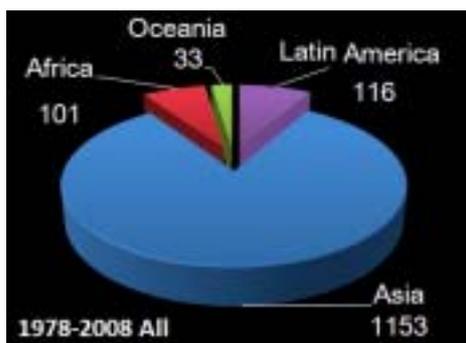
JTEC の海外研修事業は、1978（昭和 53）年の設立時、当時の郵政省からの政府開発援助 通信・放送国際協力補助金を得て、国際協力・協調および相互理解の推進と通信・放送の発展向上に寄与する目的で開始されました。以来、JTEC では、国際協力の重要な柱の一つとして捉え、国や国際機関と連携するとともに、日本の ODA によるプロジェクト案件のカウンターパート研修など、現在までに世界の 87 ヶ国・地域から 1,493 名の研修員を招聘し、通信・放送・ICT の分野における技術・サービス・政策の分野で高度かつ最先端の研修を実施してきました。また、海外研修員の招聘のみならず、日本における通信・放送関連企業・機関から将来海外における技術協力業務に携わる人材の養成研修も実施してきました。 2010 年 1 月末現在

2. JTEC 海外研修事業の現況

その後の状況の推移により総務省の政府開発援助 通信・放送国際協力補充金による研修事業は終了となりましたが、現在 JTEC では海外研修事業におけるこれまでの豊富な実績と経験を踏まえアジア・太平洋地域における電気通信関係の国際機関である APT（Asia-Pacific Telecommunity アジア太平洋電気通信共同体）の公募による地域開発途上国の電気通信・ICT 専門家向けの研修を受託、賛助会員企業の協力を得て実施しております。

JTEC では現在 APT 研修を海外研修事業の中心に据え実施しておりますが、2010 年度は APT からの公募に対し 6 件の研修を提案しております。

JTEC では今後とも研修事業を発展強化させ、発展途上国の通信・放送・ITC 分野が必要とする人材を育成していくとともに、これら研修員 OB がこれからも情報発信者として、またそれぞれの国の発展に貢献するリーダーとして活躍していくよう、連携と相互コミュニケーションをはかっていきたいと考えております。



研修員招聘地域別内訳（1978～2008）



2009 年度 APT ブロードバンド発展のための競争政策研修 受講風景



2009 年度 APT ブロードバンドを支える FTTH 技術研修 受講風景



2008 年度 APT 次世代ネットワークと標準化研修 修了式（修了証授与式を終えて）

最近実施の研修

APT（アジア太平洋電気通信共同体）受託（2009 年度）「グッドガバナンス実現のためのナショナル・データベース構築技術」研修を実施しました。